

岩倉市議会ふれあいトーク

日 時 平成28年11月16日(水) 19時02分～20時30分

場 所 大市場町会館

参加者 31名(議員除く)

議 事

1.司会 宮川 隆 総務・産業建設委員会委員長 あいさつ

2.須藤 智子 議長 あいさつ

3.議員紹介・あいさつ

4.決算報告(別紙資料)・財政運営についての説明含む 関戸 郁文 財務委員会副委員長
(意見) プレミアム商品券の追加販売は、朝早くから並ばなければ買えなかった。
(回答) 追加販売に対して、いきわたらなかつたことは課題が残った。

5.ふれあいトーク

介護保険制度

(意見) 介護保険が使いづらい。実際に介護保険を使おうとすれば生活ができない状態になるため改正する必要があるのではないか。現状、年金生活者では使えない介護保険を改善しないで、『安心していきいきと暮らせるまちづくり』はできないのではないか?年金のマクロスライドも含めて大きな問題があるのではないか

(回答) ご意見ごもっともである。介護保険は2000年から開始され、16年目である。3年に1回見直しされ、そのたびに保険料が上昇している。介護を受ける人の高齢化が進むなかで増える中で、その費用をカバーするための制度である2004年に年金のマクロスライドの導入により、年金が少なくなる一方、施設に入る利用料・保険料の負担が大きくなっているのが現状である。国の制度である。岩倉市として出来ることは、介護保険制度は市町村が保健者であるため、低所得者の保険料の減免制度の拡充、利用料の低所得者の減免、保険料の段階を当初の5段階から始まり、現在は11段階に見直し、高所得者の保険料を高くし、低所得者には低く配慮する必要がある。もっと段階を多くする必要があるのではないかと思っている。岩倉市としてできることは議会としても努力していく。

(意見) 居宅介護・施設介護を両方苦勞してきた。その介護の現状をどのように考えているのか

(回答) 介護施設の財政のほとんどが人件費である。介護士の負担が重いのに、その従事する職員の給料が安い現状がある。介護報酬が上がれば職員の給料が高くなるが、介護報酬が高くなると国民の負担が重くなってしまふ問題がある

(意見) 介護施設の現状を見て歩いてほしい。テレビが見られないのにテレビ料金を取る施設があるのは問題があるのではないか。利用者が利用しやすい施設にする必要があるのではないか

(回答) 名目により自由料金で決められる制度がある。岩倉市においても実態を調査する必要があると考えている。

宮川委員長より、地区毎に課題があるのではないか。大市場町内の困っている課題があれば提言してください。

大市場児童遊園

(意見) ①大市場児童遊園には児童遊具がほとんどない現状である。差別ではないか。改善してほしい

②大市場児童遊園ではボール遊びができない、道路や神社でボール遊びしている。大市場町付近にも公園施設が無い。一輪車等の練習も道路でやっているが、学校側から道路ではやるなといわれている。安全に遊べる場所が近くないので欲しい。

(回答) 即答できない。但し、公園の一人当たり面積が少ないため、公園面積を増やす必要があると各議員も議会としても当局も考えている。

(意見) 大市場児童遊園は、遊具が古く、人もいないため安全面の問題があり、安心して遊べない。

(回答) 担当委員会に投げかける。

(意見) 大市場児童遊園をボール遊びできるように整備してほしい。子どもたちは、道路で遊んであるのが現状である。事故が起こってからでは遅いのではないか。

(回答) 持ち帰らせていただく。

建設事業について

(意見) 岩倉市内の道路の白線が薄いのではないか。横断歩行や追い越し線などが特に薄いと感ずる。修繕期間が長いと感ずるがどうか

(回答) 市の職員が市内全体を見て優先事項において予算配分している。但し、区長さんからの白線の要望書が提出されている場所においては優先される場合がある。但し市の職員もすべての白線を把握しているわけではないため、若干遅れる場合がある。停止線・横断歩道については、市から警察（公安委員会）に要望し、警察側で施工することになる。したがって市として施工できない。防犯灯やカーブミラーについても同じである。

決算について

(意見) 建設系の予算が予算額と決算額がほぼ同じ一緒になっているのはなぜか

(回答) 3月に補正予算において余って予算は返さなければならないため、減額修正するため、決算書としてはほぼ同じになる。

(意見) 決算資料として昨年はこちらでしたが、今年はこのように改善したといった資料ではない。行政側の資料ならば議会側の資料として説明するのはいかがなものか

(回答) 決算資料は9月議会の資料として出てくる。資料を基に各委員会で議論している。議論内容を報告するべきであった。

(回答) 評価のサイクルについて議会として決算は認定するものである。そのため個々の議員での予算の使い方についておかしいと思うところを質疑するが、来年度予算に反映される PDCA の流れになっている。個々の議員で追究しているが議会としての全体提言になっていないのが課題である。一部は来年度予算に反映されるものである。内部では施策評価を行っているが議会としてチェックが甘い状態である。

道路等安全対策について

(意見) アピタ前の道路(萩原多気線)、木と草が生えているが木の枝が垂れ下がっていて子供等の自転車が通るときに危ない状態である。対策は誰が行うものなのか

(回答) 県道のため、愛知県が対策を行っている。

(意見) 東西線の道路(萩原多気線)、ローソン前の信号は右折信号がないので東から北向きに右折する車が通るときに危ない状態である。どうにかならないか。

(意見) 死亡事故があったため、変則信号に変えたが、危険な状態は変わっていない。モラルの問題もあると思うがどのように対策するのかどうか。

(意見) 変則的信号に変えたから、歩行者が安全になった一面もあると思う。

(回答) 持ち帰って行政側・警察に伝える。

財政について

(意見) 予算を作るに当たって、道路やインフラなどどうしても急にやらなければならない事業については、借金してでも予算化する必要がある。財政が健全ならば、どうしてもやらなければならない事業は、そんなになく、ある程度財政の健全な状態を保ちつつ予算化を執行できるレベルなのか、インフラ整備が良い状態なので予算的に余裕がある状態なのか、本来ならばインフラ整備をもっとやりたいのに、財政の健全化が優先させているのかどちらなのか

(回答) 地方交付税の交付団体と不交付団体があり、岩倉市は交付団体で国から地方交付税(おこづかい)を貰いながら自立してやりくりしている状態である。必要なことは借金してでもやっている。優先順位は決めているが、借金しすぎて倒れるような状態にはしない。どの事業よりも人命が優先されるべきものであると考えている。

但し、大地爆区長要望など地区総意の要望であればやっていくようにする。

財政・財政規律について

(意見) 給食センターのような大規模事業を建てること決定になれば、優先すべき事業として行ったと認識している。なぜ必要なのか説明がない。道路事業も地区要望で行うものではないと思う。優先度がはっきりと理解できないが、財政はどのようになっているのか

(回答) 岩倉市の財政が健全かどうかを正確に表すのはちょっと難しい。30年前に計画した都市計画道路を整備している、国や県と協議して決めたものであるためやらなければならない事業である。大きな道路としての北島藤島線の高架事業・桜通線・江南岩倉線(名草線)陸橋平面化、人口が減少する中で都市計画道路をどこまで整備するのかを執行部側も悩んでいる状態である。どこを優先するのかを判断するために議員の提言力も必要となってくる。そのためには地域の皆さんの意見を聴くことが大切である。

(回答) 財政規律を守っていたことになっているが、平成 30 年から小牧岩倉衛生組合において小牧市野口大山で新しいゴミ焼却場を作りましたため、借金返済のため平成 30 年から年間 1 億 5000 万円を 10 年間返していく必要がある。1 億 5000 万円は岩倉市での各町内の道路の舗装修繕工事や側溝工事等の 1 年間の予算と同じ金額が借金返済に回っていくことになる。どちらも必要なことなので事業のバランスを見て、あれもこれもこの時代から事業の選択と集中していく必要がある。これからが厳しい時代となる。

(回答) 地方交付税は国の財源調整の機能である。地方交付税はもともと地方の財源、地方固有の財源である。地方交付税を貰っているから貧乏とか貰っていないから裕福であるとの考えがあるが、小牧市は地方交付税を貰っていない、岩倉市は貰っている。例えば小牧市のトラックターミナルの一部が岩倉市であったのなら状況が変わってくるため、工場が有るとか無いとかでアンバランスにならないために財源調整のために地方交付税の役割がある。
岩倉市はベットタウンとしての役割。

(回答) 議会からの報告は、行政側の報告をするべきではないとの意見があった。

これから一番問題となって取り組まなければならない課題は、公共施設再配置計画である。平成 28・29 年度で計画作成案を作成することになっている。岩倉市の公共施設は圧倒的に古い状態であり、40 年・50 年経過した施設が非常に多い。公共施設を今後 40 年間で 13%減らす計画試算となっている。それをやらなければ、財政健全化していかないためである。減らす面積は 13000m² 減らすことになっているが学校 2 校分を削減する面積となっている。今後、廃校にするのか・統廃合するのか・複合化施設として蘇らせるのかを考えるのが我々議会が取り組むべき課題であると考えている。

印刷業者等について

(意見) 議会だよりと広報はどこが印刷しているのか？

(回答) 入札で決めている。民間の市外の業者で印刷を行っている。市内の業者の時もあった。岩倉市の広報と一緒に入札を行い、一緒に業者で行っている。

(意見) 市外の業者の行う場合は、税金は市外に収められているため、岩倉市にメリットがない状態は問題ではないか。道路工事など土木業者についても同じではないか？市内業者ができるかどうかを考慮してから見積もりするべきではないか？安ければいいという考えではなく、岩倉市が潤い税金を取るカタチにするべきではないか？

(回答) 基本的には正しいと思う。市内業者の育成のためポイントアップしていると聞いている。印刷に関してはカラー印刷・紙質等により結果的に市外業者となっている。

(回答) 印刷会社を決定する際は、指名競争入札等で入札する際にと市内業者の数が 5 社・7 社と金額が決まっており、市内業者で足りない場合は市外業者を入れて入札するルールとなっている。
印刷業者を決定する入札は激しい競争となっているためである。

(意見) 印刷紙は再生紙を使う必要があるのか？無駄ではないか

(回答) 新しい紙ではなく CO2 削減のため総合的に考えて再生紙を採用している。

(意見) 市広報などの表紙の写真は誰が撮影しているのか

(回答) 広報は市の職員、議会だよりは議会事務局職員が撮影している。

ごみ焼却場・ゴミ処理について

(意見) 新しいごみ焼却場は江南市や犬山市のごみも燃やしているのか?

(回答) 使っていない。江南市・扶桑町・大口町は大口町にあるごみ焼却場、犬山市は犬山のごみ焼却場で処理している。2つのごみ焼却場は老朽化していますが、そちらの方で処理している状態です。

(回答) 災害時の協定はあると思うが、今はそれぞれのごみ焼却場で処理している。

(意見) 新しいごみ焼却場になってごみの処理費が高くなることはあるのか

(回答) 今のところ、そのような話はありません。

(回答) 溶融炉になったため、なんでも燃やすことができるため、ごみの出し方が変わる可能性はある。

(意見) ゴミの収集についてゴミ袋に入れてネットをして集めているが、カラス対策等は何か検討しているのか?何か良い方法・知恵はないのか

(意見) ごみの出し方についても小牧市と同じ収集方法にならないのか?調整はできないのか。

(回答) 小牧市の大草に空き缶・アルミ缶を処理するため施設リサイクルプラザがあるため、その施設で独自で処理しているため、岩倉市には同様の施設が無いため分別の方法が同じにはならず、小牧市産の状況が違うことが現状である。

(意見) 小牧市の大市場町などの町では、小牧市の方と思われるゴミが捨てられ迷惑しているため、行政区が違って少しは調整できないのか。

(回答) モラルに関してはしっかり行っていきたいと思う。ゴミの処理が違うのはお金の問題にも関わっている。小牧市ではリサイクルプラザがあるため、ごみの処理がアルミ缶・スチール缶の分別をせず同じ袋でも良いことになっている。施設では身体障害者が分別のために働いている現状があり、同じ袋でも良いことになっている。新聞紙や紙の分別については、過去ごみの処理量が増えてしまったために、処理量を減らすために資源となる紙の分別に力を入れてきた売り上げを各区に配分してきた経緯がある。各行政区によって違いがあることには配慮して対策を行っていきたい。

五条川の桜並木について

(意見) 岩倉市では、桜に力を入れていることになっているが堤防の雑木対策はどのようになっているのか。大市場町でもクリーンチェックで清掃活動を行っているが市民の力では切れないような雑木もあるので、岩倉市全体として市のほうで伐採して綺麗にすることは出来ないのか?

(回答) 桜並木の雑木対策については、桜並木保存会の会員として活動しているため、あまりにも広いため、ボランティア活動としては限界がある。五条川の堤防は法型から1mは市の予算で対応できますが、そこから下は県対応になっています。市の予算でできることとできないことがあるため、県が自然林・自然帯と判断した場合は伐採出来ないのが現状である。他町でも同様の問題が起こっている。市として判断が難しいため、ボランティア活動で行っているのが現状である。

(意見) チェーンソーでしか伐採できない雑木がある

(回答) 桜並木保存会でもチェーンソーで伐採しているため、市民では難しいと思う。

旧給食センターについて

- (意見) 今まで稼働していた五条川センター沿いの旧給食センターの跡地活用はどのようになっているのか。跡地活用が決まっていないことは考えられない。
また新しい給食センター建設の補助金なしで建設したのか。
- (回答) 議会でも同じ議論が質疑されていた。今計画している公共施設再配置計画で売なのか・活用するのかの方針を決めていく必要があると思う。新しい給食センターができたため、必要のない施設になっているため、これから検討している最中である。本来ならば先に検討するべきであるため、議会でも議論はあったが先送りされているのが現状である。
子供たちに安全な給食を提供するために、施設を更新して安全な給食を提供したいとの承知していただきたい。

意見等

- (意見) 大地プールはすぐに廃止して、ほかってあったのでその考えはおかしいのではないか
- (意見) 市民プール等の施設がないことは、近隣の市町村に比べても岩倉市の施設が少ないのはおかしいのではないか
- (意見) 生涯学習センターを囲碁の同好会で利用しているが利用料金が高い。もっとお金を有効的に使えないのか。利用者が利用しやすい施設・方法を考えてほしい。
- (回答) 岩倉市はお金がないことになっていますが、27年度に使わなかった繰越金は10億円を超えていますので、お金がないことはありません。

カーブミラーについて

- (意見) カーブミラー等の要望書を提出しているが、見に来てくれているのか分からない現状がある。
どこを直してくれるのか・やってくれないかをはっきりして欲しい
- (回答) コミュニケーションの問題であるため、指摘していきます。

予算確保について

- (意見) 予算の取り方についても、会館修繕等を要望しても予算がないからできないことは問題があるのではないのか。来年度予算確保のために要望書を先に出して欲しいとはおかしいのではないか。
- (回答) 団地の開館でも同じ状況であるため、同じ思いである。何らかの対策を検討していきたい。

プレミアム商品券について

- (意見) プレミアム商品券について、余ってしまったため追加販売したときに混乱したときいたが問題はなかったのか。
- (意見) 岩倉市の販売方法は往復はがきによる申し込みであったため、他市のような混乱がなかったことは良かったと思う。
- (回答) 結果的に当初3万円ではなく5万円で販売すれば追加販売がなく問題がなかったと思う。追加販売は13時からの販売に対して11時頃までに並んだ方までしか買えなかったため、結果的に混乱したことは、問題があったと思う。

6.相原副議長 あいさつ